

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 71

千葉県立白井高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身につけており、次のアまたはイの条件を備えていること。

ア 学習成績が優れ、入学後も学習活動に意欲的に取り組む生徒。

イ 学業に励み、部活動、生徒会活動等で積極的に活動し、入学後も継続してその活動に取り組む生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査  自己表現	学校が定めた次の検査の結果 次のア、イのいずれかを、出願時に出願者が選択 ア 口頭による自己表現 実施形態：個人で発表 検査時間：約3分 イ 実技による自己表現 実施形態：個人で発表（団体種目は複数人で実施） 次の実技のうち1つを選択 吹奏楽（男女）・合唱（男女）・演劇（男女）・ バスケットボール（男女）・硬式野球（男）・ バドミントン（男女）・サッカー（男）・ 卓球（男女）・ソフトテニス（男女）・ バレーボール（男） 検査時間：3分～60分（種目によって異なる）

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 5教科の得点の合計が100点未満の場合、審議の対象とする。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合、審議の対象とする。

## (2) 調査書 [185点満点]

アの数値に、イについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	次の①～⑥の項目に関して加点する。 ① 生徒会会長・副会長等 ② クラスルーム長 ③ 委員会委員長 ④ 部活動の部長 ⑤ 技能検定 ⑥ 部活動・クラブチームの大会・コンクール等の成績 Ⅰ 全国・関東大会出場 Ⅱ 県大会団体・個人8位以上 Ⅲ 県大会出場 Ⅳ その他の顕著な活躍 (地区選抜選手等)

## (3) 自己表現 [80点満点]

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。評価にcが1つでもある場合は、審議の対象とする。

### ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 熱意・意欲	入学後の学校生活に熱意をもち、意欲的に取り組む姿勢が見られる。
(イ) 口頭による自己表現に臨む態度	口頭における自己表現に臨む態度が適切である。
(ウ) 口頭による自己表現の内容	テーマが明確で、自分の言葉で話すことができている。
(エ) 身だしなみ	身だしなみが整っている。

### イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 熱意・意欲	入学後の活動に熱意をもち、意欲的に取り組む姿勢が見られる。
(イ) 実技による自己表現に臨む態度	実技における自己表現に臨む態度が適切である。
(ウ) 実技による自己表現の内容	提示された指示を理解し、適切に実行できている。
(エ) 身だしなみ	身だしなみが整っている。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得 点	総得点
	評定（K＝1）	加点	自己表現	
500点	135点	50点	80点	765点

### (2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

## 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。